

祝 飛驒高山高校が2連覇

～第2回 和牛甲子園～

和牛の肉質と飼育の取り組みを競う第2回和牛甲子園が1月17、18日の両日に東京都内で開催され、飛驒高山高校が総合部門で最優秀賞を獲得しました。

昨年からはじめた同大会には、石井里佳さん、神田純さん、宮前七海さん、山田恵大さんが出場し、全国の11県23校から28頭が出品されるなか、2連覇の快挙を果たしました。飼育していた牛の体重が増えなかったり、直前で体調を崩すなど連覇までの道は険しかった様ですが、餌の工夫などで乗り越え、目標としていた「淡い肉色で“小ざし”と呼ばれる良質の霜降りがモモ肉にまで入る」という飛驒牛らしい枝肉に仕上げることができ、それらが高く評価されました。

卒業後はそれぞれ、進学や就職で畜産の道に進みます。未来の飛驒牛ブランドを支える皆さんを応援しています。



体験することの大切さを学びました

～県内初の快挙！内閣総理大臣賞受賞～



第43回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの作文部門において、山下紗世（清見小5年）さんが内閣総理大臣賞を受賞され1月15日、中野谷教育長へ報告に来庁されました。

同賞の受賞は県内初の快挙で全国の小中学生5万2,812点の応募の中から選ばれました。

作文の内容には、5年生の稲作体験を通じて学んだことが綴られています。清見小では稲作体験が行われていますが、山下さんは当初、体験をすることへの疑問を抱いていました。

しかし、昨年夏の豪雨を通じて自分たちが植えた稲への心配、無事だったことへの安堵の気持ちといったように一連の体験を経た自身の気持ちの変化に気づきました。実際に体験することによって、脈々と受け継がれた稲作文化や植物を大事に思う心など、たくさんのお話を学んだと最後にまとめています。

これからも日々抱く疑問に対して、体験し考えることで自分なりの答えを見出し、様々なことを学んでいただきたいと思います。

守りたい人がいる
守りたいまちがある

シリーズ消防団 No.30

一之宮支団 第3分団

一之宮支団第3分団は、標高1,529メートルの位山を中心に広い地域をカバーしています。また、その位山には、天皇家に献上する御笏や市の無形文化財の「宮笠」の作成に欠かせないイチイが自生し、林野火災の防止啓発にも努めています。

昨年は想定外の豪雨や台風により連日連夜の出動が続き、危険な状況の中での巡視や水防活動などに従事しました。団員は毎月2回の機械器具点検、春季・秋季訓練等により災害に備えています。また、秋の火災予防運動では、自主防災組織と合同で各家庭の火の元点検を行うなど、一之宮地域の安全安心のために活動しています。引き続き地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。



一之宮支団 第3分団の皆さん

南 喜代一分団長 / 40人

消防団員募集中!

詳しくは消防総務課 (☎ 34-3792) または
各支所、最寄りの消防署まで

編集・発行 / 高山市総務部広報情報課
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL / 0577-32-3333(代)
FAX / 0577-32-7000 (市長室直通)
FAX / 0577-35-3174 (広報情報課直通)

E-mail / kouhou@city.takayama.lg.jp
HP / http://www.city.takayama.lg.jp/
携帯用HP / http://mobile.city.takayama.lg.jp/
防災行政無線の内容は電話でも確認できます
TEL / 0577-35-6000